

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		表彰事業				②事業番号		1102	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		— 年度		⑤終了予定年度	
						— 年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		○ 要綱	
								計画等	
								その他 法令等の名称	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		一部委託		補助・負担	
								その他	
⑧関連予算科目コード		款		2		項		1	
								目	
								1	
⑨担当部名		⑩担当課名						細目	
総合政策部		秘書広報課						3	
								会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民・団体		① 全市民		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
市民表彰・自治功労者表彰として、毎年功労のあった市民や団体に対し、表彰する。		① 表彰者数		人	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
市民や団体に敬意を表するとともに更なる活動への契機とする。		① 表彰者数		件	
		① 計算式			
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
市民の活動が盛んになり、市民参画、市民との協働が推進される。		政策(章) 6 みんなでまちづくりに取り組むまち			
		施策大(節) 1 市民が力をあわせるとともに、行政とともにまちづくりに取り組む参画と協働のまちをめざします			
		施策中 1 市民参画・協働の推進			
		施策小 1 市政参画の促進			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	全市民	人	61,984	61,457	60,795	—	—	
対象指標②								
活動指標①	表彰者数	人	23	20	25	20	20	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	表彰者数	件	23	20	25	20	20	
成果指標②								事業費などの推移における 特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.46	0.46	0.43	0.43		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	3,729	3,548	3,282	3,282		—
	直接事業費	千円	189	193	202	206		
	総事業費	千円	3,918	3,741	3,484	3,488		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,918	3,741	3,484	3,488		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	更なる活動の契機、市民の模範となる方に対する善行を表彰するため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	開始から概ね現状のままで推移している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目			評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)			ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	市政参画、市民協働意欲の向上の観点から、全市民を対象とした市政に関する貢献者の表彰は、費用においても社会通念上の範囲である。				

[2]有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。			ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	更なる活動の契機や市民への模範となることによる波及効果。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)			イ. ある イ. ない	自治功労者表彰に関する要綱や市民表彰規定に基づき表彰選考委員会で選考を行い、予算の範囲内での表彰が必要な事から今後大きな成果の向上は困難な状況である。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。			ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	市政に対する功労を評価することから、現状の体制が望ましい。				

[3]効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などではありませんか。)			アイ. ある イ. ない	事業の内容から現状の方法が好ましい。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞		
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
	＜今後の展開方針＞	
	a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる)	
	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題 及び考えられるその解決策		—